

外来機能報告に基づく 紹介受診重点医療機関について

紹介受診重点医療機関について

令和4年3月17日 外来機能
報告等に関するワーキング
グループ参考資料

○ 外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るため、医療資源を重点的に活用する外来の機能に着目して、以下のとおり紹介患者への外来を基本とする医療機関(紹介受診重点医療機関)を明確化する。

- ① 外来機能報告制度を創設し、医療機関が都道府県に対して外来医療の実施状況や紹介受診重点医療機関となる意向の有無等を報告し、
- ② 「地域の協議の場」において、報告を踏まえ、協議を行い、協議が整った医療機関を都道府県が公表する。

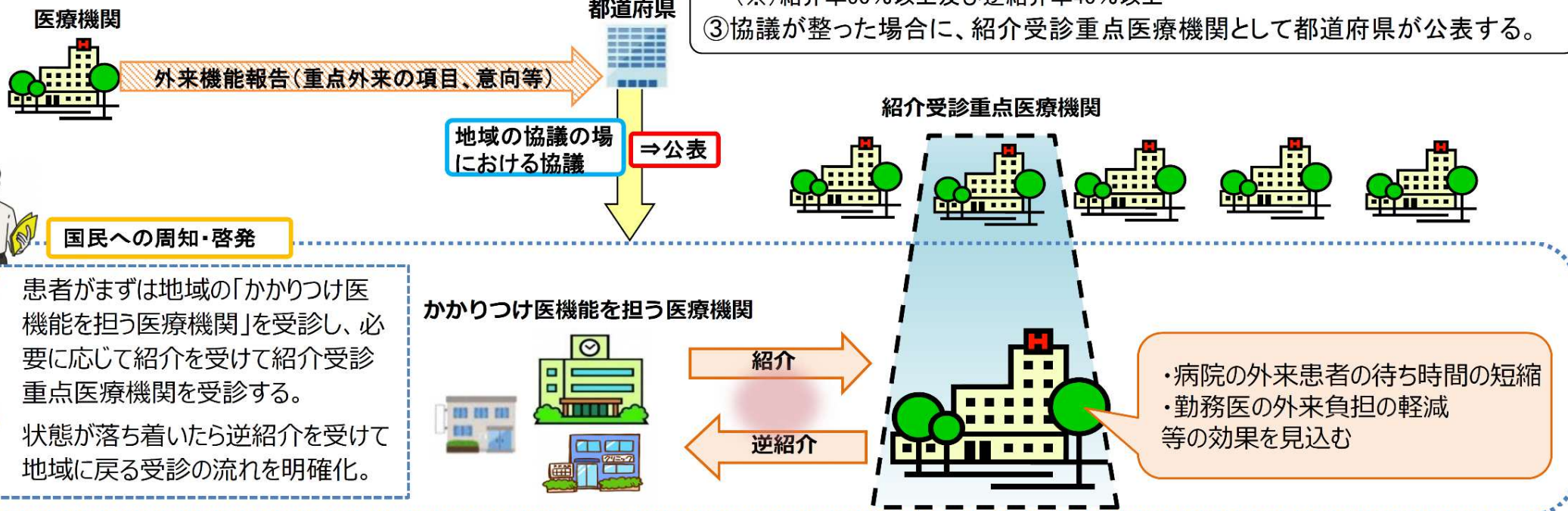
※紹介受診重点医療機関(一般病床200床以上の病院に限る。)は、紹介状がない患者等の外来受診時の定額負担の対象となる。

【外来機能報告】

- 「医療資源を重点的に活用する外来(重点外来)」等の実施状況
 - ・医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来
 - ・高額等の医療機器・設備を必要とする外来
 - ・特定の領域に特化した機能を有する外来
- 紹介・逆紹介の状況
- 紹介受診重点医療機関となる意向の有無
- その他、地域の協議の場における外来機能の明確化・連携の推進のための必要な事項

【地域の協議の場】

- ①医療資源を重点的に活用する外来に関する基準(※)を満たした医療機関については、紹介受診重点医療機関の役割を担う意向を確認し、紹介率・逆紹介率等も参考にしつつ協議を行う。
(※)初診に占める重点外来の割合40%以上 かつ
再診に占める重点外来の割合25%以上
- ②医療資源を重点的に活用する外来に関する基準を満たさない医療機関であっても、紹介受診重点医療機関の役割を担う意向を有する医療機関については、紹介率・逆紹介率等(※)を活用して協議を行う。
(※)紹介率50%以上及び逆紹介率40%以上
- ③協議が整った場合に、紹介受診重点医療機関として都道府県が公表する。



紹介受診重点医療機関の基準と庄内地域での協議の状況

紹介受診重点医療機関の基準

医療資源を重点的に活用する外来（紹介受診重点外来）の件数の占める割合が、

- ・ 初診の外来件数の40%以上
かつ
- ・ 再診の外来件数の25%以上

- 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来
例）悪性腫瘍手術の前後の外来
- 高額等の医療機器・設備を必要とする外来
例）外来化学療法、外来放射線治療
- 特定の領域に特化した機能を有する外来
例）紹介患者に対する外来

意向はあるが基準を満たさない場合

参考にする紹介率・逆紹介率の水準

- ・ 紹介率50%以上
かつ
- ・ 逆紹介率40%以上

- 庄内地域では「日本海総合病院」と「鶴岡市立荘内病院」の2つの医療機関が地域の協議の場（＝庄内地域保健医療協議会）での協議を経て、紹介受診重点医療機関として公表されている。（R5.8.1公表）
- 「日本海総合病院」と「鶴岡市立荘内病院」からは、引き続き「紹介受診重点医療機関となる意向あり」との報告となっているため、地域の協議の場での確認が必要。

紹介受診重点医療機関の基準の適合状況

R 6 外来機能報告

基準値		日本海総合 病院	鶴岡市立 荘内病院
初診の外来件数に占める 紹介受診重点外来の割合	40%以上	56.3%	43.0%
再診の外来件数に占める 紹介受診重点外来の割合	25%以上	34.5%	38.4%

R 7 外来機能報告（速報値）

初診の外来件数に占める 紹介受診重点外来の割合	40%以上	56.7%	41.3%
再診の外来件数に占める 紹介受診重点外来の割合	25%以上	34.3%	39.8%

2つの医療機関はいずれも
基準を満たす